

平成30年度日本小児外科学会
第8回定例理事会議事録

日 時：平成 30 年 5 月 29 日（火） 10：00～13：00

会 場：朱鷺メッセ 3 階小会議室 303+304

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、窪田正幸（理事・会長）、八木 實（理事・副会長）、奥山宏臣、山高篤行、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、小林 隆（庶務委員）、浦尾正彦（財務会計補佐）、古村 眞（専門医制度庶務委員会委員長）、米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長、利益相反委員会委員長）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：松藤 凡（第 34 回秋季シンポジウム会長）

議事案件：

議 事：

1. 第8回定例理事会の議事録署名人は、山高篤行理事、野田卓男理事とした。
2. 平成29年度第7回臨時理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第 55 回学術集会について（窪田会長）

窪田会長より、学術集会開催にあたって挨拶が述べられた。託児所の申し込みが、5月29日0名、30日1名、6月1日4名であると報告された。

会 期：平成 30 年 5 月 30 日（水）～6 月 1 日（金）

会 場：朱鷺メッセ

テーマ：家族の夢を紡ぐ小児外科 次世代への提言

2) 第 56 回学術集会について（八木副会長）

八木副会長より、プログラム案等が報告され、承認された。

会 期：平成 31 年 5 月 23 日（木）～25 日（土）

会 場：久留米シティプラザ

テーマ：継往開来～小児外科学の継承と発展～

3) 第 34 回秋季シンポジウムについて（黒田前理事長）

松藤秋季シンポジウム会長が身内の不幸により出席出来なかったため、黒田前理事長より資料に基づき、日程表等進捗状況が報告され、了承された。今回は演題申込が集中した際は、合同開催の他の研究会での発表希望のチェックボックスを演題申込のフォームに設けて、溢れた場合には他の研究会で発表してもらうように配慮したと報告された。

会 期：平成 30 年 10 月 27 日（土）

会 場：聖路加国際大学

テーマ：総排泄腔異常

4) 第 35 回秋季シンポジウムについて（米倉次期秋季シンポジウム会長）

米倉次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、秋季シンポ・PICC-WS の共同シンポジウム終了後のポスターセッションの開催すること、2 日目に開催される PSJM の研究会(小児外科代謝・呼吸器外科・内視鏡手術手技)の午後に、PICC 側との合同ワークショップを開催すること、4 日目に開催される PICC-WS の中に、小児外科との合同ワークショップを開催することが提案され、承認された。

会 期：平成 31 年 10 月 19 日（土）

会 場：大阪国際交流センター

テーマ：小児集中治療

5) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部次々期秋季シンポジウム会長）

廣部次々期秋季シンポジウム会長より、準備状況が報告され、了承された。

日時：平成 32 年 10 月 31 日（土）

テーマ：先端的医療機器・技術

6) 評議員会・総会進行手順について（越永理事長、藤野庶務委員長）

越永理事長・藤野庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。

7) 次期副会長、専門医制度委員選任の件（藤野庶務委員長）

藤野庶務委員長より、立候補状況につき報告があり了承された。

8) 庶務委員会審議事項（藤野委員長）

藤野委員長より資料に基づき、WebEx 使用規定を更新したと報告され、承認された。

9) 財務会計委員会審議事項（浦尾補佐）

浦尾補佐より、平成 29 年度収支決算報告、平成 30 年度収支予算案につき説明があり、質疑応答の後、了承された。

10) 各種委員会審議事項

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・ JSPS 学術集会最優秀論文賞（JSPS prize）の本年度（2018 年、第 55 回学術集会）は以下の 1 論文の受賞が推薦され、承認された。

Masaya Yamoto, M.D.

Department of Pediatric Surgery, Shizuoka Children's Hospital

A new prognostic classification for management of esophageal atresia in infants

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より資料に基づき、前回理事会で説明した新学会登録システムについて、現在日本小児血液・がん学会側の計画書が審査中であると報告され、新しいシステム自体は6月1日から運用が始まることが報告された。日本小児血液・がん学会が新システムの案内を開始した後、本学会もHPを通じて会員にアナウンスを行うと提案され、承認された。

(6) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(10) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、重症心身障害に対する移行期ガイドブックの内容および会員へのパブリックコメントを行うことが提案され、承認された。

(11) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、委員会で審議を行う際、担当理事にも議決権を持たせるかについて、委員会規則の改定を検討すると報告された。

(14) NCD連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案がされた。

・NCD-P 入力時の術式検索システム

3階層型の検索メニュー（大分類・中分類・小分類（NCD術式））が完成した（若干の微修正が必要）と報告があり、承認された。

・Audit 開始に伴う予算として、NCD 入力データの質と悉皆性を担保するために、今後 Audit を行うことを予定している。1年間に2施設をNCD連絡委員から2名を選出し1日間の Site visit を行う場合、交通費や日当などの支出が必要であると提案された。他学会がどのように行っているか情報を集めた後、再度理事会で検討することとした。

・Audit・サイトビジットの今年度は、NCD 連絡委員が行うことを計画しているが、来年度以降誰が行うべきかと検討がされ、監査手続きマニュアル作成や担当者募集の流れを検討の上、再度理事会で検討することとした。

・Annual report 2011～2012 の英文論文の次の投稿先について、2018年3月30日に、Surg Today より reject との回答があったと報告がされた。同論文について、他のジャーナルに投稿を検討するか断念するか検討がされ、掲載することが可能なジャーナルがあるかどうかを調査の上、再度理事会で検討することとした。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(16) 利益相反委員会（米倉委員長）

米倉委員長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(17) 法人格変更作業委員会（越永理事長）

越永理事長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

11) 評議員選挙について（越永理事長、藤野庶務委員長）

越永理事長、藤野庶務委員長より、今回の選挙管理委員としては、通例により庶務委員会から藤野委員長、菱木委員を選任し、さらに古賀寛之評議員を委員として委嘱する旨提案があり、承認された。今回の評議員選挙はNPOの規程に則り、NPOの評議員に選出された会員は、一般社団法人が設立したと同時に一般社団法人の評議員になると説

明がされた。

また、NTT-PC の事業撤退により、来年は評議員選挙のシステムが使用できなくなるため、例年のスケジュールを前倒しにして、開票までを年内で完結するスケジュールを立てること、定款施行細則の改定案を次回理事会で提案することとなった。

- 12) 「全国規模の学術アンケート調査に関する規定」の改定について（越永理事長）
越永理事長より資料に基づき、全国規模の学術アンケート調査に関する規定の委員会業務の負担軽減、アンケートを受ける会員の負担軽減を目的とした改定案が提案され、承認された。

「全国規模の学術アンケート調査に関する規定」

変更該当文は下線

改定前

3. アンケート調査を希望するもの（以下、依頼者）は、その主旨、内容を事前に理事会に提出する。依頼者から審議と承認の依頼を受けた理事会は、審議などの業務を委員会に委託する。委員会は、調査研究の重要性、会員にとっての有益性、研究方法の科学的妥当性（構造化された研究計画に基づくものが望まれる）、倫理的配慮などについて審査する。改訂、再審査の必要性な場合は、依頼者に直接通知する。委員会は最終審議の結果を、理事会の承認を得たのち依頼者に通知する。ただし、日本小児外科学会（各種委員会調査を含む）が行う調査研究はこの限りではない。

改定後

3. アンケート調査を希望するもの（以下、依頼者）は、その主旨、内容を事前に理事会に提出する。依頼者から審議と承認の依頼を受けた理事会は、審議などの業務を委員会に委託する。委員会は、①調査研究の重要性、②会員にとっての有益性、③研究方法の科学的妥当性（構造化された研究計画に基づくものが望まれる）、④倫理的配慮などについて審査する。改訂、再審査の必要性な場合は、依頼者に直接通知する。委員会は最終審議の結果を、理事会の承認を得たのち依頼者に通知する。ただし、日本小児外科学会（各種委員会調査を含む）が行う調査研究はこの限りではない。施設または認定臨床研究審査委員会承認を得ているものは③、④を省略する。

4. 報告事項

1) 理事長報告（越永理事長）

(1) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「平成 29 年年報」を受領した。

(2) 日本医学会からの通信文「日本医学会シンポジウムの開催について（案内）」を受領した。

(3) 日本医学会からの通信文「平成 29 年度日本医学会新規加盟学会について」を受領した。

(4) さいたま市からの通信文「さいたま医療ものづくりフォーラム 2018 名義使用報告書」を受領した。

(5) 日本医師会からの通信文「平成 30 年度医学生、研修医等をサポートするための会」を受領した。

(6) 外科関連学会協議会からの通信文「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を受領した。

(7) 日本医師会からの通信文「女性医師支援に関するアンケート調査」について」を受領した。

(8) 世界乳幼児精神保健学会日本支部からの通信文「ロバート・エムディ先生来日東京特別講演のお知らせ」を受領した。

(9) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の統一書式について」を受領した。

(10) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の施行等に関する Q&A について (その 1)」を受領した。

(11) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の施行等に関する Q&A について (その 2)」を受領した。

(12) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の施行等に関する Q&A について (その 3)」を受領した。

(13) 日本医学会からの通信文「臨床研究法施行規則の施行等について」の正誤について」を受領した。

(14) 日本医学会からの通信文「MID-NET の本格運用開始及び MID-NET の利活用に関するガイドラインの策定について」を受領した。

(15) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用における予備的調査の実施要綱について」を受領した。

(16) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用に係る利用料について」を受領した。

(17) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用者を対象とした研修の取扱いについて」を受領した。

(18) 日本医学会からの通信文「レギュラトリーサイエンス総合相談に関する実施要綱の一部改正について」を受領した。

(19) 日本医学会からの通信文「レギュラトリーサイエンス戦略相談に関する実施要綱の一部改正について」を受領した。

(20) 日本医学会からの通信文「アテゾリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌）について」を受領した。

(21) 日本医学会からの通信文「デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（アトピー性皮膚炎）について」を受領した。

(22) 日本医学会からの通信文「医療用麻薬の乱用防止製剤について」を受領した。

(23) 日本医学会からの通信文「加工細胞等に係る治験の実施状況の登録について」を受領した。

(24) 日本医学会からの通信文「介護医療院創設に伴う死亡診断書（死体検案書）の様式改訂について」を受領した。

(25) 日本医学会からの通信文「機械器具等の治験の実施状況の登録について」を受領した。

(26) 日本医学会からの通信文「経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えについて」を受領した。

(27) 日本医学会からの通信文「JST 戦略研究推進部からのお知らせについて」を受領した。

(28) 日本医学会からの通信文「平成 30 年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」候補の推薦について」を受領した。

(29) 日本医学会からの通信文「血液製剤の使用指針」の一部改定について」を受領した。

(30) 日本医学会からの通信文「情報通信機器 (ICT) を利用した死亡診断等ガイドライン」に関する Q&A について」を受領した。

(31) 日本医学会からの通信文「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂について」を受領した。

(32) 日本医学会からの通信文「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」改訂版公開について」を受領した。

(33) 日本医学会からの通信文「第 4 回研究倫理教育研修会配付資料について」を受領した。

(34) 日本医学会からの通信文「機械器具等の治験の実施状況の登録について」を受領した。

(35) NCD からの通信文「NCD 理事会・社員総会 (326 開催) の議事録確定及び役員登記完了のご報告」を受領した。

(36) 第 16 回メール審議報告 (指導医要件 (新学術経験要件) の改定) について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(37) 第 17 回メール審議報告 (悪性腫瘍委員会で集積したデータを用いた研究課題を科研に申請すること) について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(38) 第 18 回メール審議報告 (学会保有データの学術利用申請) について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(39) 第 19 回メール審議報告 (学会役職等英文表記) について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(40) 第 20 回メール審議報告 (専門医教育カリキュラム基準英語版) について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(41) 第 21 回メール審議報告 (一般社団法人定款案及び細則案パブコメ) について、全会一致にて承認されたことが報告された。

2) 庶務委員会報告 (藤野委員長)

藤野委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

3) 各種委員会報告

(1) 機関誌委員会 (奥山担当理事)

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(2) 国際・広報委員会 (越永担当理事)

越永担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(3) 保険診療委員会 (廣部担当理事)

廣部担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会 (山高担当理事)

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会 (田尻担当理事)

田尻担当理事より、審議事項で報告した登録システムの案内を HP に掲載すること、今回の学術集会で開催するシンポジウムの中でも説明を行うと報告された。

(6) 学術・先進医療検討委員会 (臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・本学会の学術資料に関する収集・調査分析と報告

本学術集会発表より優れた手術ビデオを選出し、HP のビデオライブラリー (デジタル化) に追加する。第 55 回学術集会第 3 日目のビデオセッションで、司会 2 名 + 委員 3 名で評価を行う。

・新生児外科全国調査

2013 年の新生児外科アンケート調査二次解析 (新生児腸管不全に関する疫学調査) 結果の発表と論文化について、理事会からの要求事項 (IRB や authorship など) に対する報告が、当時の委員である和田基先生よりあった。

日本小児外科学会が保有するデータを用いた臨床調査研究として、「NCD データによる新生児外科パイロットスタディの解析結果に関する論文研究」を、NCD 連絡委員会とともに平成 30 年 4 月 17 日に申請した。

・先進医療及び学術的情報収集および会員への情報提供

「小児外科関連 Systematic Review」の HP への掲載 : 2015-2017 年に publish された一定基準を満たす SR 論文 99 論文の要約を 4 月 8 日に終了し、HP に掲載した。

・会員対象のアンケート調査依頼の審査

厚生労働省による「医療ニーズの高い医療機器などの早期導入に関する要望対象の拡大と要望」の募集に対して、本学会より応募した「Justright surgical 社 (米国) の 5mm ステープラと 3mm シーリングシステム」のヒアリングとプレゼンテーションを、内田委員長が 4 月 11 日に PMDA で行った。

・学会 HP の「小児外科で治療する病気」の改訂について

全疾患に関して、委員が二人でペアを組み評価を行った。追加・削除項目について検

討中であるが、動脈管開存症を除く心疾患（心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、ファロー四徴症、大動脈転位症）は削除するとの委員会での判断になっている。また、改訂には、評議員を中心とした学会員のご協力依頼を検討している。

そのままよいもの・・・・・・・・・・84
図・写真のみの差し替え・・・・・・・・4 ⇒委員会
一部文章や数値の差し替え・・・・・・・・24 ⇒委員会
文章や写真の大幅な差し替え・・・・・・・・22 ⇒学会員の協力
削除・・・・・・・・・・2+ α
追加・・・・・・・・・・ β ⇒学会員の協力

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、5月31日に医療倫理講習会が開催される旨、アナウンスがされた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、5月30日に小児救急セミナーが開催される旨、アナウンスがされた。

(10) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(11) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、5月31日に委員会企画として「徹底討論！小児外科医の理想的な働き方」が開催される旨、アナウンスがされた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) NCD連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・テスト Audit を NCD 連絡委員会委員の所属する 2 施設で Site visit を行い、実際に Audit を行うための準備を進めている。今後新たに 2 施設でテスト Audit を行う予定である。

- ・ annual report 2016 の解析項目案に従い解析を行い、第 55 回日本小児外科学会学術集会にてポスター展示する。また委員会報告として annual report 2013-14 が日本小児外科学会誌に掲載された。またそれに伴い学会ホームページのアンニュアルレポートの部分を刷新した。

- ・医療品質/リスクカリキュレーターに関して今後第 55 回日本小児外科学会学術集会にてリスクモデルを提示する予定で、2018 年度中にリスクカリキュレーターの公開を目指している。

- ・学会員からの NCD-P 入力に関する問い合わせに対応した。

- ・新生児統計に関しては 2016 年の集計は NCD データを用いた解析が終了しており、第 55 回日本小児外科学会学術集会で学術・先進医療検討委員会から報告予定である。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、HP に掲載しているガイドラインの改変を検討しており、著作権の問題を確認後に更新を行う旨、報告された。

(16) 利益相反委員会（米倉委員長）

米倉委員長より、2016 年、2017 年の利益相反自己申告書の回収が終了し、利益相反ありと申告された 4 名分の申告書を、評議員会後の委員会でチェックを行うと報告された。

(17) 法人格変更作業委員会（越永理事長）

越永理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

4) 評議員会理事長報告（越永理事長）

越永理事長より、評議員会資料が多いので、評議員会では大事な点を絞って説明する旨、報告された。

5) 専門医制度委員会報告（田尻施設認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員長）

田尻施設認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員長より資料に基づき、例年の認定状況と、指導医規則の改定、現在集まっているパブリックコメントについての回答について評議員会で説明を行うと報告された。

また、平成 30 年度の理事会では専門医制度各委員長にも理事会に参加してもらい、情報共有を行っていくと報告された。

6) 財務会計委員会報告（浦尾補佐）

浦尾補佐より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

7) 次回定例理事会日程の確認（越永理事長）

次回理事会は平成30年6月1日（金）12：00～13：00 朱鷺メッセ3階小会議室303+304

にて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____